

学会賞 学術研究部門		
年度	受賞者	受賞テーマ
2002年度	戸田 達史	福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患の臨床分子遺伝学的研究
2003年度	服部 信孝	パーキンソン病の発症研究
2004年度	岩坪 威	アルツハイマー病ならびにパーキンソン病の分子病態解明に対する貢献
2005年度	高嶋 博	遺伝性ニューロパチーの分子遺伝学
2006年度	結城 伸泰	軸索型ギラン・バレー症候群の発症機構の解明
	池田 昭夫	ヒトの随意運動における補足運動野の機能と臨床的意義
2007年度	松浦 徹	脊髄小脳失調症10型の分子遺伝学的解析
2008年度	小野寺 理	脊髄小脳変性症の分子病態機序の解明
2009年度	西野 一三	自己貪食空胞性ミオパチーの病態解明と治療法開発
2010年度	該当者なし	
2011年度	丸山 博文	筋萎縮性側索硬化症の新規原因遺伝子Optineurinの同定

学会賞 診療/教育部門		
年度	受賞者	受賞テーマ
2002年度	該当者なし	
2003年度	澁谷 統壽	神経内科医の診療向上及び厚生行政上の地位向上への貢献
2004年度	近藤 清彦	神経難病患者の在宅ケアシステム確立への寄与
2005年度	石井 一弘	茨城県神栖町における有機ヒ素中毒の発見と疫学的・臨床的検討
2006年度	該当者なし	
2007年度	堀川 楊	在宅神経難病患者を支える地域ケアシステムの確立
2008年度	該当者なし	
2009年度	該当者なし	
2010年度	該当者なし	
2011年度	該当者なし	

榊林賞		
年度	受賞者	受賞テーマ
2002年度	松村 賢	パーキンソン症状発現における脚橋被蓋核の生理学的、解剖学的役割
2003年度	該当者なし	
2004年度	該当者なし	
2005年度	古川 芳明	ドーパ反応性ジストニー(DRD)の臨床・遺伝・生化学的研究
2006年度	橋本 隆男	基底核疾患における運動障害の病態解明および治療法開発の研究
2007年度	織茂 智之	パーキンソン病及びレヴィー小体型認知症のMIBG心筋シンテグラフィーを用いた早期診断法の確立とその病態機序に関する研究
2008年度	望月 秀樹	パーキンソン病の遺伝子治療研究
2009年度	村田 美穂	新しい抗パーキンソン病薬ゾニサミドの発見
2010年度	河村 満	パーキンソン病における認知障害の研究:特に社会的認知機能障害と扁桃体機能障害との関連について
2011年度	岡澤 均	ハンチントン病の分子病態解明